

# 活セン ニュース

2018年 10月

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体などの活動をお手伝いする、あなたのセンターです。皆さんにとって使いやすいセンターを目指しています。ご意見、ご要望をどんどんお寄せください。

## NPOカフェ 開催しました。

第1回のNPOカフェは、テーマを「地域おこし」って何？で開催しました。地域おこし協力隊を含む9人が参加、始終とてもなごやかな雰囲気の中、いろいろな意見が飛び交い、幅広い意見交換ができました。



その中で、地域おこし協力隊としていなべ市に来て活動しているが、地域おこしが、地域から求められていないとすることがあるという衝撃的な話がありました。地域おこしって何？何のため？参加者からは、何をすることが地域おこしになるだろう？と多方面から意見が出ました。いなべ市も過疎で高齢化している地域が増えていくにもかかわらず、危機感が感じられない、地域の課題は本当に何？と考えさせられる意見もありました。

話は多岐に渡り、いろいろな考えにふれることも重要だと感じました。このようなカフェを通じて、参加者同士が交流を深めて新しいつながりが生まれることを期待しており、今後も引き続き開催していきます。

気になるテーマがあればご参加ください。また、こんなテーマで話したいなどの希望があれば、お寄せください。



次回 11月10日（土）10：00～11：30 開催

テーマ「あなたにとって居場所とは？」子どもの、高齢者の、あなたの居場所は？

参加希望者は、市民活動センターへ電話、メールにてお申し込みください。

## 子どもの貧困対策

# 全国キャラバン in 三重

9月24日、津市総合文化センターにおいて、子どもの貧困対策を考えるシンポジウムが開催されました。

午前は、「それぞれの立場から見た子どもの貧困」について、4名のパネリストたちによる意見交換がありました。

午後は、トークと意見交換「地域で進める子どもの貧困対策」として、桑名市の「太陽の家」の対馬さんと、いなべ市からNPO法人ヴェリタスの松宮さんによる活動報告と、ワークショップがありました。活動報告のあと、参加者が7～8人ずつ13グループに分かれ、子どもの貧困と、自分たちが出来る事について意見交換しました。



現代の貧困は、なかなか表面に出ず、分かりにくい。しかし、子どもたちは、必死に生きている。子どもたちが行きやすい「多様な居場所」が必要では？など、いろいろな意見が出ました。いなべ市でも複数の団体が子どもたちの見守りや子育て支援の活動を行っています。

主催者 公益財団法人あすのば・三重県

## 西日本豪雨の被災地に出向いて

6月28日～7月8日に西日本を中心に広範囲で記録的な大雨が降りました。そのため、愛媛、広島、岡山などで河川が氾濫し大規模な土砂災害が発生しました。

この災害支援のため、みえ災害ボランティア支援センターで、広島県呉市にボランティアを派遣する「みえ発ボラパック」の募集があり、8月下旬、これに当センターの太田が参加しました。

津から、夜行バスで呉市災害ボランティアセンターに到着後、3班に分かれ、自治会長の先導で現場へ、民家に押し寄せた土砂を取り除く作業を行いました。猛暑のなか、熱中症予防のため、10分作業しては10分休憩します。間口の狭い民家では、重機が入らないため土砂を取り除くのは人の手で行います。テレビで見ていた被災地は、仮設住宅が建ち、復興へ向かっているように見えました。しかし、実際に現地に行ってみると分かったことは、2ヶ月経った今も土砂に埋まった住宅はまだ多く、復旧は思うようには進んでいないという現状でした。今年のボラパックの運行は終了しましたが、活動支援金を受け付けています。詳しくはみえ災害ボランティアセンターまでお問合せ下さい。





## カナの訪問レポート

### 助成金講座 2018

9月14日(金)、市民活動センターにて助成金講座を開催しました。

助成金は、「資金が不足しているから」ではなく、その団体や活動が成長していくための事業への投資であり、助成する側は、それによってどんな効果があるかを求めます。地域社会の課題の解決方法を提示し、審査担当者の共感を得ることが近道です。また、会計報告や情報発信をしていることが団体の信用になるなどの、助成金の基本的な話がありました。

実際、申請書は、どう書けばいいのか、助成金を獲得した経験をもとに、具体的な説明があり、随時、各団体からの質問に答えていく。そんな講座でした。

その後参加者が、実際に申請する立場になって申請書を書いたり、助成する立場になってチェックしたりして、学びました。

助成金申請の募集の締め切りが多くなるのは11月です。インターネット申請も増えてきています。申請は余裕をもって計画しましょう。

\*CANPANのHPから、助成対象分野や募集時期を絞って検索できます

<http://fields.canpan.info/grant/>

- ◆キリン・地域のちから応援事業 <福祉ほか> ~10月31日締切
- ◆岡田文化財団 <芸術> ~10月31日締切
- ◆三十三ファイナシャルグループ NPO 応援基金 <子育て・環境> ~11月5日



## お知らせ

### ママ マルシェ

日時 **10月25日(木)**  
10:00~13:00

場所 **いなべ市市民活動センター**

主催 **子育てサロン さくらんぼ**

### 第9回 桑西 竹の十三夜

日時 **10月27日(土)** 17:00より

場所 **桑名西高校、隣接した竹林**

竹林でのコンサートです。

主催 **NPO 法人 桑竹会**

※詳細は Facebook、HP 等でご確認ください。

### 第10回 ほのぼのコンサート

いなべ市や桑名市で活動しているグループ「ぼちぼちいこか」のコンサートです。

大正琴・箏・コーラス・ミュージックベルの演奏を行ないます。

なお、ご来場いただいた方先着300名様に会員が手作りした記念品をプレゼントします。

大人はもちろん、子どもも演奏します。

ぜひご来場ください。

日時 **11月3日(土)** 9:30開演

場所 **藤原文化センター**

**入場無料**



# 世代交代というバトン

## ～継ぐか、終えるか、創るのか～

「メンバーが高齢化し、活動の持続が難しい」「リーダーがカリスマすぎて、あとを継げる人がいない」…など、世代交代に関する課題がよく聞かれます。自治会や敬老会などでも、この世代交代が大きな課題になっています。

- ケース① 子どもたちが自然の楽しさを学ぶ団体  
世代交代が5～10歳程度の若返りが多い中、あえて経験の浅い若者に託す。⇒ 一代で終わるつもりで頑張っていたら、若者がふえてきた。それで続けていくことを考えた。
- ケース② 高齢者対象の地域サロンの団体  
後継者が育ってから辞める。⇒ うまく世代交代ができなかった。
- ケース③ 高齢者対象の地域サロンの団体  
迷惑をかけないようにすべて精算し、自分の代で終えることを決意した。⇒ 華々しく終えることができ、すっきりした。



ここで挙げたケースのほかに、活動そのものが減って、そのまま自然消滅してしまうのも見受けられます。社会の課題に向かって活動している団体が継続していくためにも、世代交代がうまく行ってほしいですね。

### いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 111 老人福祉センター内  
TEL (0594) 74-5806 FAX 74-5834  
E-mail [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)  
HP <https://inabeshiminkatu.jimdo.com>  
委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

